

機械器具 51 医療用嘴管及び体液誘導管
一般医療機器 チューブ用クランプ 43223000

OSK 金属チューブ鉗子

【形状・構造及び原理等】

1. 形状

代表的写真



- 3) 超音波洗浄器・ウォッシャー・ディスインフェクター等の洗浄装置で洗浄する場合、可動部分は開放し、汚れが落ちやすい状態でバスケット等に収納して処理する。
- 4) 金属タワシ、クレンザー(磨き粉)等は器具表面を損傷するので使用を避ける。
- 5) 仕上げすぎには、精製水・脱イオン水・濾過水等の使用を推奨する。
- 6) 洗浄後は、腐食防止のために直ちに乾燥する。
- 7) 滅菌が必要な場合は、134°C/5分の高圧蒸気滅菌条件を推奨する。
- 8) 手術器具用潤滑剤の塗布を推奨する[可動部の防錆のため]。

2. 原材料 : ステンレス鋼

2. 点検

滅菌前、使用前に汚れ・破損・変形・可動部の動き等を点検する。

3. 原理

先端部の2つの咬み合い部によって、把持、結合、圧迫又は支持する。ラチェット部が重なるとロックがかかり、重なる度合いが大きいほど、先端部の閉じる圧力は強くなる。

*【製造販売者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者 : オガワ精機株式会社

電話番号 : 03-6908-5257

外国製造業者 : NUMISMA INTERNATIONAL (パキスタン)

*【使用目的又は効果】

チューブを遮断するか、つまむための器具をいう。通常、検査室で使用するが、医療施設で使用する汎用のものもある。本品は再使用可能である。

*【使用方法等】

- 1) 使用前に必要なに応じて、洗浄・消毒・滅菌する。
- 2) ハンドルを親指と中指等を用いて握ると、ラチェット部が重なるともに先端が閉じる
- 3) 開くときは、ハンドルと親指と中指等を用いて開く。

【使用上の注意】

- 1) 一度閉じたラチェットを開くとき、構造上一度閉じる方向に戻した後開くこと。
- 2) 器具を保護し、作動を滑らかにする保守油が塗布されているので、適切な油除去を行ってから滅菌処理をおこなうこと
[油が付着したまま高圧蒸気滅菌を行うと、器具が変色する可能性がある]。

*【保管方法及び有効期間等】

- 1) 水のかからない場所に保管すること。
- 2) 直射日光が長時間当たる場所には保管しないこと。

*【保守・点検に係る事項】

1. 洗浄・消毒

- 1) 汚れが乾燥し落ちにくくなるのを防ぐため、付着した血液・体液・組織・薬品等は直ちに洗浄し、消毒する。
- 2) 汚染除去に用いる洗剤は、洗浄方法に適したものを選択し、その適正濃度と取扱方法を守る。中性洗剤を推奨する。